

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第33週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第33週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第33週（令和4年8月15日から令和4年8月21日まで）

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）RSウイルス感染症 3）ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は6.06人と前週（4.38人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.53人と前週（2.18人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は1.22人と前週（0.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“知っていますか？～急性灰白髄炎（ポリオ）～”について取り上げました。

急性灰白髄炎（ポリオ）は、ポリオウイルスを原因とする感染症です。多くは無症状ですが、神経細胞に感染するため、感染者の約0.1%に弛緩性の麻痺を残します。我が国では昭和36年にポリオ生ワクチンを緊急輸入し、小児に投与することで患者数が激減し、昭和39年からは、ポリオ生ワクチンの定期予防接種が始まりました。その後、国内での患者発生はみられなくなりましたが、ワクチン由来のウイルスによる麻痺が問題となり、現在は不活化ワクチンに切り替えられています。

しかし、国外の一部の国では現在も患者が報告されており、令和4年7月には米国においても約10年ぶりにワクチン由来の麻痺の患者が確認されました。国内でも、ワクチン接種率が低下すると、患者発生のリスクが高まりますので、定期予防接種は忘れずに受けましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

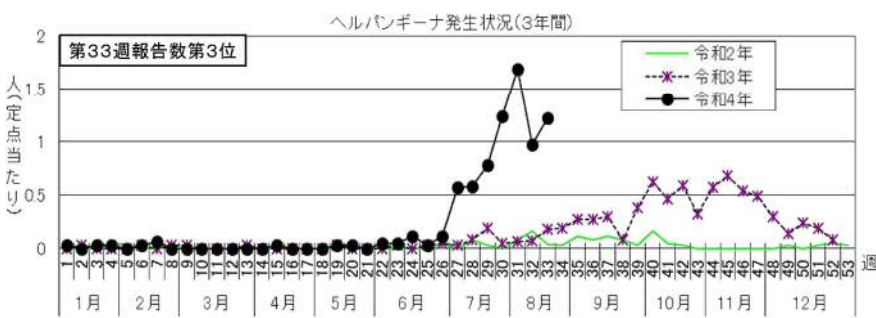
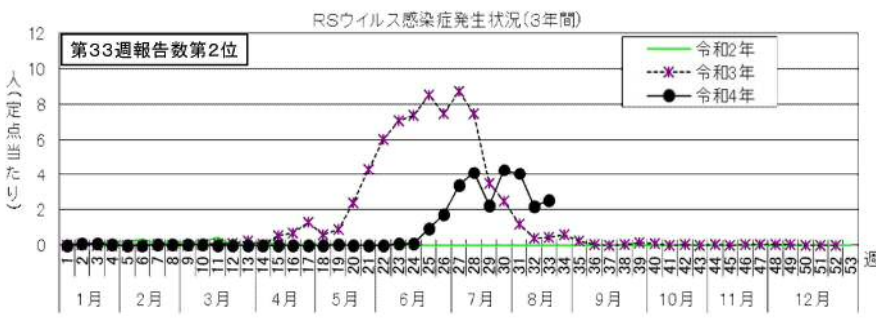
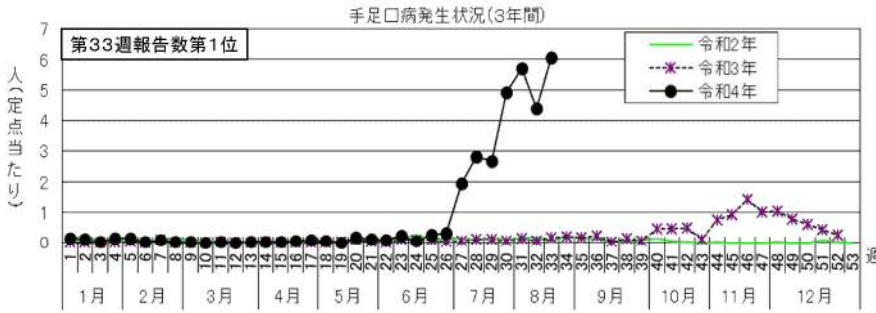
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年8月15日（月）～令和4年8月21日（日）〔令和4年第33週〕の感染症発生状況

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) RSウイルス感染症 3) ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は6.06人と前週（4.38人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.53人と前週（2.18人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は1.22人と前週（0.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～急性灰白髄炎（ポリオ）～

急性灰白髄炎（ポリオ）は、ポリオウイルスを原因とする感染症です。多くは無症状ですが、神経細胞に感染するため、感染者の約0.1%に弛緩性の麻痺を残します。我が国では昭和36年にポリオ生ワクチンを緊急輸入し、小児に投与することで患者数が激減し、昭和39年からは、ポリオ生ワクチンの定期予防接種が始まりました。その後、国内での患者発生はみられなくなりましたが、ワクチン由来のウイルスによる麻痺が問題となり、現在は不活化ワクチンに切り替えられています。

しかし、国外の一部の国では現在も患者が報告されており、令和4年7月には米国においても約10年ぶりにワクチン由来の麻痺の患者が確認されました。国内でも、ワクチン接種率が低下すると、患者発生のリスクが高まりますので、定期予防接種は忘れずに受けましょう。

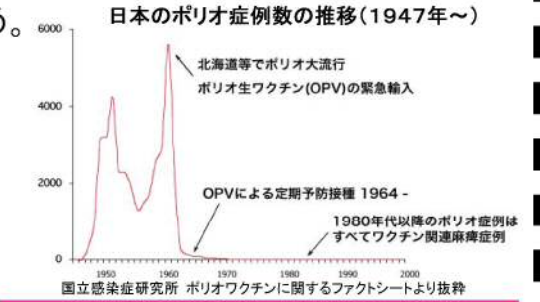
急性灰白髄炎とは？

【感染経路】
接触感染、糞口感染

【潜伏期間】
3～35日間（通常7～21日間）

【主な症状】
微熱、頭痛、咽頭痛、無菌性髄膜炎、急性弛緩性麻痺
※感染しても症状の出ない人（不顕性感染）が90～95%

【予防方法】
不活化ポリオワクチンの接種：生後3～12か月に初回接種3回、初回接種から12～18か月後に追加接種1回



昭和50～52年生まれの方は要注意
 昭和50～52年生まれの方は抗体保有率が低いとされています。発生病に渡航する場合などは、ワクチン接種を御検討ください。